

南第1 職員 コラム

～職員を紹介～ 『社会福祉士を目指したきっかけ』

開田響子 (ひらきだ きょうこ)



わたしは自他ともに認めるおばあちゃんっこでした。学校が休みの日には祖母と一緒に栗の堅い皮をむいたり、白和えの豆腐をつぶしながら、祖母の生い立ちや戦争の話など聞かせてもらうのが大好きでした。祖母は明治44年生まれ。遠縁を頼って上京し、手に職をつけたいと髪結いに。早くに夫を亡くし、女手一つで父たち4人の子供達を育ててくれました。なんでも自分でやってみる。物を大切にする。感謝の気持ちを伝える。兄弟仲良く。101歳の一生をかけて、子・孫・ひ孫にも生きざまを見せてくれたと思います。社会福祉士の実習で芙蓉園にお世話になり、一人一人に様々な人生、それを取り巻く家庭環境があることを知りました。人生の終着点で、これでよかったと思っていただけのように、自分も何かお手伝いが出来ないかと思いこの仕事を選びました。日々勉強の毎日ですが、この仕事につけて幸せだなあと感じています。今後ともよろしくお願いいたします。



富田なつき (とみだ なつき)

日頃より地域の皆さまには大変お世話になっております。私がこの職を決めたのは高校生の時です。子供の頃、よく病院に通っていた私は、医療機関で働きたいと思っていましたが、体調面などで叶わず進路相談室にあった『社会福祉士になるには』という本を見つけてこの資格を知り、興味をもちました。当時は相談職を配置している病院は少なく、まだまだメジャー資格とも言えず…介護保険もスタートしていません。その後、進学して、様々な福祉の職種の方と知り合う機会をもち、先輩方のいきいきと働いている姿をみて、高齢福祉の職に進みました。介護職、施設相談員と経験し、最初はとても苦労しましたが、周りのみなさまに支えられて、今頑張っています。

今色々な職種のテレビドラマが放映されていますね。いつか、社会福祉士が活躍するドラマ…、も人気になってもらえるといいな、と思います！福祉の分野は生活に直結することが多く、私自身も新しい発見が沢山あります。今、なかなか皆さんと直接顔を合わせる機会が少なく、寂しく感じておりますが、また元気に笑顔で皆さまにお会いできるよう、自己研鑽に努めていきます。



今年も大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

(町田市受託事業)(担当エリア:南町田・鶴間・小川・つくし野・南つくし野)

町田市南第1高齢者支援センター 編集:山岸・目時

住所:町田市南町田 5-16-1 総合福祉ホーム芙蓉園1階

電話:042-796-2789 FAX:042-799-0079

開所時間:月～土 8:30～17:00 (日曜祝日 12/29-1/3 はお休みです)



総合福祉ホーム芙蓉園のホームページでも地域の皆様向けの情報を発信しております。ぜひご一読下さい。

<https://fuyouen.jp>